オンラインシラバス　高校3年生　本科

現代文演習 …… 2
古文演習 …… 3
漢文演習 …… 4
私文・入試現代文 …… 5
私文・入試古典 …… 6
理国・入試現代文 …… 7
理国・入試古典 …… 8
世界史B …… 9
日本史B …… 10
世界史演習 …… 11
日本史演習 …… 12
地理演習 …… 13
倫理・政治経済演習 …… 14
数学Ⅲ …… 15
数学ⅠAⅡB …… 16
文系・数学演習 …… 17
理系・数学演習 …… 18
物理 …… 19
化学 …… 20
生物 …… 21
コミュニケーション英語Ⅲ …… 22
英語IE …… 23
ライティング …… 24

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	現代文演習	本科・文系	3	沖野

到達目標
国公立大学・難関私立大学合格を目指し、論述問題を中心に実践的に演習・解説を繰り返し、実力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
オリジナル教材を作成し、論理的文章・小説の論述問題（100字程度）を演習・解説を繰り返す。添削することはもちろんだが、 生徒たちで模範解答を作成する協同学習も行う。

授業スケジュール	
1学期	国公立大学（名古屋大学）演習・解説
1学期中間試験	
1学期	国公立大学（北海道大学・東北大学）演習・解説
1学期期末試験	
2学期	国公立大学（千葉大学・東京大学）演習・解説
2学期中間試験	
2学期	志望校に合わせた入試演習・解説
2学期期末試験	
3学期	志望校に合わせた個別指導中心
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	漢字の小テストは毎週行います。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
オリジナル教材		

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
論述問題はとりあえず書くということをしなければ始まりません。失敗を恐れず、どんどん書いてみましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	古文演習	本科	3	高橋・小森

到達目標

1.入試問題を解くために必要な知識、読解力を養う
2.古典文学作品を通し、日本文学や文化に対する幅広い教養を身につける

授業の進め方・学習方法

実際の入試問題を中心とした問題演習を行う。
毎回の小テストで語彙や文法知識の徹底を図る。

授業スケジュール

1学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
1学期中間試験	
1学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
1学期期末試験	
2学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
2学期中間試験	
2学期	入試問題演習（演習は国公立大・私大・共通テスト対策など幅広く行う）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
共通テスト対策【実力養成】重要問題演習　古典	ラーンズ	

参考書

書名	著者	出版社	備考
体系古典文法		数研出版	
古文単語315		桐原書店	
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス

これまで身につけた古文の知識を用いて、実際の演習に取り組みます。
欠けている部分が明らかになったら、そこを補うような自己学習を行ってください。
毎回の小テストや問題演習に対する真摯な取り組みと、授業での高い集中を望みます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	漢文演習	本科	2	脇山・遠藤

到達目標

①文章のジャンルに応じて的確な解釈ができる。
②共通テストにおける選択問題や難関私大・国公立二次試験の記述問題に的確に解答できる。
③漢文の句形や中国思想について、知識を深め、読解に活用することができる。

授業の進め方・学習方法

演習形式の授業となります。演習問題を解いていく中で、文章自体の現代語訳が滞りなく作れるよう、読解するうえでの練習を重ねていきます。そして次に、設問の解法が身に付けられるよう実践を通じて練習を重ねていきます。

授業スケジュール

1学期	テキストを用いた問題演習 ①秦から漢代初期にかけての歴史的事項 ②再読文字、使役形、受身形などの確認、漢文の構造理解
1学期中間試験	
1学期	テキストを用いた問題演習 ①先秦思想（儒家と法家） ②反語形、詠嘆形、抑揚形など句形全般
1学期期末試験	
2学期	テキストを用いた問題演習 ①先秦思想（儒家と道家）・漢代思想・宋学 ②抽象的文章の
2学期中間試験	
2学期	難関私大、国公立二次試験過去問演習
2学期期末試験	
3学期	個別対応
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内・授業外小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
重要問題演2023共通テスト　古典	Benesse	
漢文必携	桐原書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

演習量をこなし、様々な分野の問題を解けるようにしましょう。演習で一度読んだ文章は、すべて現代語訳ができるようにしてください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試現代文	本科・私文	3	松本

到達目標
中堅私大から難関私大・国立2次の論説文・小説文の演習を中心に読解力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
入試問題の演習教材をオリジナルで作成し、テーマ別・レベル別に行う。最初は問題文の読み方や解き方を説明し、 途中からグループで解説を考えたり、模範解答を作成したり、主体的な学びとなる形で授業を進める。 習熟度別にクラスを編成する。

授業スケジュール	
1学期	共通テスト・中堅私大レベルの問題をプリント化し、評論文を中心に演習・解説を行う。
1学期中間試験は実施しない	
1学期	早慶・GMARCHレベル・関関同立の入試問題の演習・解説を行う。
1学期期末試験は実施しない	
2学期	早慶・GMARCHレベル・関関同立の入試問題の演習・解説を行う。
2学期中間試験は実施しない	
2学期	早慶・GMARCHレベル・関関同立の入試問題の演習・解説を行う。
2学期期末試験は実施しない	
3学期	志望校に合わせた指導を行う。
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	10	
授業での取り組み	10	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
コア入試漢字2800	桐原書店	
頻出現代文重要語700	桐原書店	
現代文読解問題難関私大編	駿台文庫	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
演習量をこなし、様々な分野の問題を解けるようにしましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試古典	本科・私文	3	林

到達目標

中堅私大から難関私大・国立2次の古典に対応できる読解力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

火曜2限：古文単語315を用いて単語および古典常識の定着を図る。
水曜4限：『古典読解問題　難解私大編』を用いて問題演習を行う。
水曜6限：3人1組のグループとなり、4限で解いた問題について各自発表（他メンバーに解説）する。
　　担当以外の問題も必ず解き、質問を用意するなどして主体的に発表を聞く姿勢をとる。

授業スケジュール

1学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第1回～第2回 ※『古典読解問題　難解私大編』が届くまではプリント対応します
1学期中間試験は実施しない	
1学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第3回～第7回
1学期期末試験は実施しない	
2学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第8回～第11回
2学期中間試験は実施しない	
2学期	問題演習『古典読解問題　難解私大編』古文編：第12回～第16回　漢文編：第1回～第3回
2学期期末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		授業内試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	20~100	

教科書・教材

書名	出版社	備考
古典読解問題　難解私大編	駿台文庫	
精選古典B古文編	教育出版	
精選古典B漢文編	教育出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考
体系古典文法		数研出版	
古文単語315		桐原書店	
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス

これまで身に着けてきた知識をアウトプットすることで知識と知識を繋ぎあわせ、古典世界の解像度を上げていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試現代文	SG・理国	2	宮田

到達目標
大学入試共通テストで得点を取れる読解力、思考力を身につける。

授業の進め方・学習方法
共通テスト対策問題、過去問題等を使用し、問題演習を行う。 問題演習を行いながら、基礎的な漢字、語彙の力を身につける。

授業スケジュール	
1学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
1学期中間試験	
1学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
1学期期末試験	
2学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
2学期中間試験	
2学期	問題演習（共通テスト対策問題、共通テスト過去問）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を80%の評価対象とし、残り20%を授業内小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
問題量をこなすことで速読力も身につけ、設問の意図をすばやく読み取り、適切な解答を見つけることができる力を育成しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
国語	入試古典	本科・理国	2	小森

到達目標

1.共通テストの古典分野で高得点が取れる力を養う
2.古典文学作品を通し、日本文学や文化に対する幅広い教養を身につける

授業の進め方・学習方法

　実際の入試問題を中心とした問題演習と、語彙文法の小テストを行う。
【予習】問題を解いたあと答え合わせをし、わからなかった単語や文法事項を調べ、現代語訳を確認する
【復習】重要箇所の現代語訳と解き直し

授業スケジュール

1学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
1学期中間試験は実施しない	
1学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
1学期期末試験は実施しない	
2学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
2学期中間試験は実施しない	
2学期	問題演習（演習は共通テストを中心に国公立大対策など幅広く行う）
2学期期末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		授業内試験を80%の評価対象とし、残り20%を小テストや課題、授業内の取り組みなどで評価する。
レポート		
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	20～100	

教科書・教材

書名	出版社	備考
共通テスト対策【実力養成】重要問題演習　古典	ラーンズ	

参考書

書名	著者	出版社	備考
体系古典文法		数研出版	
古文単語315		桐原書店	
漢文必携		桐原書店	

担当者からのアドバイス

週に2時間ずつしかない国語の授業で、共通テストでの高得点を目指しています。
毎回の小テストや問題演習に対する真摯な取り組みと、授業での高い集中を望みます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史B	本科	6	近藤泉子

到達目標

・高校3学年時に大学入学共通テストレベルの実力をつけ、総合的に大学受験で通用する受験世界史の「知識」を身につける。
・「社会に貢献できる力」の育成をめざし、現代の世界を多角的に捉える視点を各国、各時代の世界史を学ぶことで養う。
・世界史の通史を学習し、受験に対応できる知識を身につける。思考の第一段階を養う(原因→結果→影響を常に意識して授業に臨む)

授業の進め方・学習方法

・講義等で戦間期～現代までの通史を学習し、既習事項についてテストで定着をはかりながら、補足およびテーマ学習を行う。
・共通テストおよび個別の大学入試形式の演習を取り入れる。

授業スケジュール

1学期	・戦間期 ・アジアの独立運動 ・世界恐慌 ・第二次世界大戦の背景となる国際関係
1学期中間試験	
1学期	・第二次世界大戦 ・冷戦の形成、多極化とグローバル化 ・冷戦の終結と現代の世界
1学期期末試験	
2学期	・テーマ学習と演習 ・時代別学習と演習 ・地域別学習と演習
2学期中間試験	
2学期	・テーマ学習と演習（共通テスト形式、入試形式） ・時代別学習と演習（共通テスト形式、入試形式） ・地域別学習および総合的な演習（共通テスト形式、入試形式）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	・定期試験以外は、週ごとに行う単元別復習テストで評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
世界史B	東京書籍	
ニューステージ	浜島書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考
詳説世界史研究		山川出版社	

担当者からのアドバイス

・好きになることが最大の武器です。新聞などを読んで社会に興味を持ちましょう。
・「いつ」「どこで」を常に念頭において、学習している事柄を世界史の全体像〈地図・年表〉に位置づけて、他の地域との関わりや影響を受けたできごとやその後の世界に与えた影響を整理すること。
・調べる、自分の弱点となっている地域や時代について整理したメモをつくることをどれだけ几帳面に行うか、が得点につながります。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史B	本科	6	表

到達目標

1. 近世後期から現代にいたるまでの流れをつかみ、政治史・文化史・外交史・社会経済史の重要知識の習得をはかる。
2. 共通テストレベルの基礎学力の定着と、難関国公立・私大レベル以上の入試に対応できる応用力・記述力の養成をはかる。

授業の進め方・学習方法

1. 教科書を大切に、基礎基本の理解力の育成と同時に入試頻出テーマを確認しながら、実践的な授業を展開していきます。
2. 資料集を使い、写真や史料など必要な知識を確認していきます。
3. 重要事項の確認テストを実施します。

授業スケジュール

1学期	第3部　近世 第7章　幕藩体制の展開 2 経済の発展　3 元禄文化 第8章　幕藩体制の動揺 1 幕政の改革　2 宝暦天明期の文化　3 幕府の衰退と近代への道　4 化政文化
1学期中間試験	
1学期	第4部　近代・現代 第9章　近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱　2 明治維新と富国強兵　3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係　5 近代産業の発展　6 近代文化の発達
1学期期末試験	
2学期	第10章　二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本　2 ワシントン体制　3 市民生活の変容と大衆文化 4 恐慌の時代　5 軍部の台頭　6 第二次世界大戦 第11章　占領下の日本 1 占領と改革　2 冷戦の開始と講和 第12章　高度成長の時代 1 55年体制　2 経済復興から高度成長へ 第13章　激動する世界と日本 1 経済大国への道　2 冷戦の終結と日本社会の変容
2学期中間試験	
2学期	共通テスト対策・国公立二次試験対策
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の得点を基準として、小テストや課題の提出状況・提出課題の取り組み状況を平常点として加算します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
詳説日本史　改訂版	山川出版社	
詳説日本史図録　第9版	山川出版社	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

日本史Bでは、政権担当者を意識して授業を受けてください。そして、復習としてその日の授業範囲について、教科書の精読を行ってください。復習は基礎知識の定着が実現できる唯一の手段であることを忘れずに、日々の復習を怠ることなくおこなってください。一緒に頑張っていきましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	世界史演習	本科・私文	4	沖・近藤

到達目標

昨年度の学習内容の定着度の確認と並行して，模擬試験や入試問題に対応できる実力の養成をはかる。
生徒個々の進路目標に即した問題演習を行い，偏差値UPをめざす。

授業の進め方・学習方法

基礎的な問題演習や発展的な問題、大学入試問題の演習を行います。毎回様々な大学の入試問題をランダムに解いていきます。
自分の目標に照らして毎回の演習で定着していない項目を、ノートや教科書に記録、整理して蓄積すること。

授業スケジュール

1学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内試験を実施する
1学期中間試験は実施しない	
1学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内試験を実施する
1学期期末試験は実施しない	
2学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内試験を実施する
2学期中間試験は実施しない	
2学期	世界史Bの定期試験対策演習 模擬試験対策演習 大学入試過去問演習 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内試験を実施する
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	0～20	・授業内考査（履修者全員共通） ・授業ごとの入試問題への取り組み、得点
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	80	

教科書・教材

書名	出版社	備考
世界史B	東京書籍	
世界史詳覧	浜島書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考
詳説世界史研究		山川出版社	

担当者からのアドバイス

同じ問題、同じ項目では2度と間違えない！を心に刻んで、問題演習で歴史を定着させよう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	日本史演習	本科・私文	4	矢野・岸野

到達目標
・各種教材を使用して問題演習を行い、入試における実践力の定着を目指す。 ・大学入学共通テストの「日本史」において、8割以上の以上得点する学力をつける。

授業の進め方・学習方法
・問題演習を行った後、解説授業を行う。 ・問題の解説だけではなく、周辺知識の確認も行う。 ・習熟度別にクラスを編成し、生徒レベルに応じた指導を行う。(なお、編成は本科・SGの合同である)

授業スケジュール	
1学期	・高校2年次に学習した範囲（原始・古代・中世・近世）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認も行う。 ※中間試験は実施しないが、中間試験前に授業内テストを行う。
1学期中間試験は実施しない	
1学期	・高校2年次に学習した範囲（原始・古代・中世・近世）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認も行う。 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内テストを行う。
1学期期末試験は実施しない	
2学期	・高校2年次、高校3年夏休みまでに学習した範囲（原始・古代・中世・近世・近現代）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認も行う。 ※中間試験は実施しないが、中間テスト前に授業内試験を行う。
2学期中間試験は実施しない	
2学期	・高校2年次、高校3年2学期中間までに学習した範囲（原始・古代・中世・近世・近現代）の内容の問題演習を行う。 ・基本事項だけでなく、周辺知識の確認も行う。 ※期末試験は実施しないが、期末試験前に授業内テストを行う。
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	授業内テスト、小テスト、授業への取り組み方など、総合的に判断して評価を行う。 (定期試験の代わりとして、各学期末に授業内テストを実施する)
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材		
書名	出版社	備考
詳説日本史　改訂版	山川出版社	
実力をつける日本史100題	Z会	
日本史B　日本史総合テスト	山川出版社	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
定期試験や模試で良い点数をとれていても、安心はできません。またいくら知識をインプットしても、アウトプットができなければ点数は取れません。これらの力を伸ばすためには、繰り返しの問題演習が必須です。授業内だけではなく、各自の自主学習でも演習の数を重ねて、実際の入試に対応できる力を高めていきましょう。 なお、各大学で問題の出題傾向は当然異なります。各自で自身の志望校の出題状況を分析し、それに合わせた演習も並行して行ってください。これが志望校合格への第一歩です。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
地理歴史	地理演習	本科	3	渡邊

到達目標

前期は系統地理、後期は日本地誌を中心に行う。「地球的課題と私たち」や「身近な地域の課題」も併行して学習する。

授業の進め方・学習方法

講義と演習を織り交ぜて、授業を進める。

授業スケジュール

1学期	系統地理 1　世界の地形 2　小地形 3　気候
1学期中間試験	
1学期	系統地理 4　エネルギー・資源 5　都 6　人口
1学期期末試験	
2学期	①　地球的課題の特性とその解決 ②　さまざまな環境問題 ③　熱帯林の破壊とその解決 ④　地球温暖化の現状と対策 ⑤　限りある資源・エネルギー ⑥　地域で異なるエネルギー問題 ⑦　人口の増加と少子化・高齢化 ⑧　地域で異なる人口問題 ⑨　飢餓と飽食 ⑩　都市への人口集中と諸問題
2学期中間試験	
2学期	⑪　地域で異なる都市・居住問題 ⑫　身近な地図とその特色 ⑬　GISのしくみと支える技術 ⑭　目的に合わせた地図の作成 ⑮　日本の自然環境 ⑯　地震被害と防災1 ⑰　地震被害と防災2 ⑱　火山災害と防災 ⑲　災害に備える ⑳　新・旧の地形図の比較
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、授業への取り組みや小テストの結果などを加味して評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
高等学校　新地理A	帝国書院	
新詳高等地図	帝国書院	
新詳資料地理の研究	帝国書院	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

「共通試験」でも必要とされた基本的知識事項を固めること、これが地理の学習において一番大切なポイントである。ただ、それに加えて、「暗記のみ」には頼らないようにして欲しい。共通テストでは、単なる知識の確認だけではなく、その運用する能力〔特に世界史との関連〕が求められている。これを身につけるためには、基本的知識事項に対する「深い理解」と歴史の学習内容を「自分のこととして学ぶ姿勢」が必要である。学習内容に対して、常に疑問を持つ姿勢を忘れず、思考しながら授業に参加してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
公民	倫政現代社会演習	本科	3	細田

到達目標

1：青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに，自己の確立を促し，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
2：民主主義の本質に関する理解を深め，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解できるようになる。
3：多角的・多面的なものの見方を身につけるとともに，現代の諸課題について主体的に考察し、公正に判断できる力を養う。

授業の進め方・学習方法

プリントを用いて、学習事項の講義を行う。プリントだけに頼らず、講義内容を積極的にメモすることが好ましい。
演習用の問題を解き、講義内容の理解を深める。倫理分野は講習を実施する。

授業スケジュール

1学期	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の成立と基本的性格 ・基本的人権の保障 ・日本の安全保障と地方自治 ・日本の政治制度	
1学期中間試験		
1学期	・国際社会の成立と国際法 ・国際機関と戦後国際社会の動向 ・戦後国際政治の動向と日本 ・経済社会の変化 ・市場経済の機能と限界 ・経済成長と景気変動	・青年期の特徴 ・ギリシアの思想 ・キリスト教・イスラーム教・仏教 ・中国の思想
1学期期末試験		
2学期	・財政と金融のしくみ ・戦後日本経済の発展と現状 ・日本経済の諸問題 ・国際経済のしくみ ・国際経済機関と地域的経済統合 ・国際経済の諸問題と日本	・日本の文化と仏教 ・日本儒教と民衆思想 ・近代の日本思想 ・近代民主主義思想と人権 ・近代市民社会の倫理
2学期中間試験		
2学期	・現代日本の諸課題 ・国際社会の諸課題 ・問題演習	・生命と環境 ・情報社会
2学期期末試験		
3学期		
学年末試験は実施しない		

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験を中心に小テストや授業での取り組みを平常点として加味して評価する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考

参考書

書名	著者	出版社	備考
新よくでる一問一答　倫理、政治経済		山川出版社	

担当者からのアドバイス

「センター試験」でも必要とされた基本的知識事項を固めること、これが倫政・現社の学習において一番大切なポイントである。ただ、それに加えて、「暗記のみ」には頼らないようにして欲しい。共通テストでは、単なる知識の確認だけではなく、その運用する能力が求められている。これを身につけるためには、基本的知識事項に対する「深い理解」と政治経済や倫理の学習内容を「自分のこととして学ぶ姿勢」が必要である。学習内容に対して、常に疑問を持つ姿勢を忘れず、思考しながら授業に参加してほしい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学Ⅲ	本科	6	堀内・小沢

到達目標

入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

1学期は講義形式＋問題演習
2学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール

1学期	積分法
1学期中間試験	
1学期	数学ＩＡⅡＢⅢ演習
1学期期末試験	
2学期	数学ＩＡⅡＢⅢ演習
2学期中間試験	
2学期	数学ＩＡⅡＢⅢ演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	
レポート	~20	
小テストなど	~20	
授業での取り組み	~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。
特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学ＩＡⅡＢ	本科	6	田中

到達目標
数学の基本構造を大切にし、分野を横断した思考に多く触れることで高校数学を俯瞰する意識をもち、入試問題への対応力を養う。

授業の進め方・学習方法
・授業における解説は要点に絞り、計算力・思考力の強化のため演習時間を確保する。 ・基礎の拡充に必要な教材として、FocusGoldを十分に活用して知識のインプット・アウトプットを連動させる。 ・必要な生徒に応じて、論述対策(添削)を実施する。

授業スケジュール	
1学期	数ＩＡⅡＢ分野の基本事項＋頻出事項の確認
1学期中間試験	
1学期	数ＩＡⅡＢ分野の基本事項＋頻出事項の確認
1学期期末試験	
2学期	共通テスト・入試問題演習
2学期中間試験	
2学期	共通テスト・入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施ない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	一回の試験の範囲が膨大になるため、適宜確認試験を行うようにする。
レポート	20	
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考
プリント		

参考書			
書名	著者	出版社	備考
FocusGold 数ＩＡ，ⅡＢ		啓林館	

担当者からのアドバイス
受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。 特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学演習	本科・文系	4	小沢

到達目標
入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法
1学期は講義形式＋問題演習 2学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール	
1学期	数学ＩＡⅡＢの各分野の基本確認・頻出問題解説
1学期中間試験	
1学期	数学ＩＡⅡＢの各分野の基本確認・頻出問題解説
1学期期末試験	
2学期	入試問題演習
2学期中間試験	
2学期	入試問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		
レポート		
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。 特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
数学	数学演習	本科・理系	2	小沢

到達目標

入試問題で戦える数学力を身に着ける。

授業の進め方・学習方法

1学期は講義形式＋問題演習
2学期は問題演習＋記述指導

授業スケジュール

1学期	入試問題演習（基本・標準）
1学期中間試験	
1学期	入試問題演習（標準）
1学期期末試験	
2学期	入試問題演習（標準・発展）
2学期中間試験	
2学期	入試問題演習（標準・発展）
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験		
レポート		
小テストなど		
授業での取り組み		

教科書・教材

書名	出版社	備考

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

受験に向けて与えられた時間は同じです。その「価値」を高めながら、日々成長するよう心掛けましょう。
特に、高3のスタートから「どれだけ自分に厳しく取り組めたか」が「メンタル」を鍛えます。受験に負けないためにも、積極的に挑んでください。こちらも全力で導きます。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	物理	本科	6	井上・佐藤

到達目標

・物理を通して、帰納的・演繹的思考力を身につける。身につけたその力は、どの分野に進むにしても、だれからも奪われない一生の財産となるでしょう。

・大学入試の典型問題を自力で解く力を身につけ、志望校（最難関大学も含む）に合格する物理解答力を養う。

授業の進め方・学習方法

・基本的には、
①板書による講義により、物理理論の重要事項を伝えます。適宜、法則を発見するに至る帰納的思考や演繹的思考について伝えます。
②問題集を用いて物理理論の重要事項を使う練習をすることによって、思考力を養います。単振動や回路問題など、いつも決まったやり方で解けるような問題については、解き進める前に、解法のパターン化を示します。
③演示実験により、物理理論と現実との関わりについて説明します。

※　下記の授業スケジュールは進度によって変更する可能性があります。

授業スケジュール

1学期	第3編　波（総合物理2） 第3章　光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折
1学期中間試験	
1学期	第4編　電気と磁気 第1章　電場 1. 静電気 2、電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー 第4編　電気と磁気 第2章　電流 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体
1学期期末試験	
2学期	第3章　電流と磁場 1. 磁場 2. 電流のつくる磁界 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力 第4章　電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路
2学期中間試験	
2学期	第5編　原子 第1章　電子と光 1. 電子 2. 光の粒子性 3. エックス線 4. 粒子の波動性 第2章　原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	平常点は、授業態度、課題の提出状況などから算出する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
総合物理1・2	数研出版	
リードα物理基礎・物理	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

物理を通じて物事を筋道を立てて組み立てる思考力の向上を目指します。
様々な事象を数式で表現し予測する楽しさを体感しましょう。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	化学	本科	5	関矢

到達目標

化学基礎で学んだ概念をもとにして高校化学で扱う総合的な概念を体系的に理解する。
理論化学分野では日常生活や社会と関連付けて考察する力や概念や法則を活用できる力を養う。
有機化学分野では様々な性質や反応を活用して応用，表現する力を養う。
無機化学分野では基本的な物質の性質や反応の知識を用いて課題を整理し，分析する力を養う。

授業の進め方・学習方法

授業は教科書の内容に沿って進め，大学入試を意識した発展的な内容も扱う。
知識も単なる暗記だけではなく背景や多角的に考えられるよう様々な事例を紹介する。

授業スケジュール

1学期	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 2章 合成高分子化合物 3章 高分子化合物と人間生活
1学期中間試験	
1学期	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 無機物質と人間生活 3編 化学反応の速さと平衡 3章　水溶液中の化学平衡
1学期期末試験	
2学期	入試問題を中心に、各単元の演習を行う
2学期中間試験	
2学期	入試問題を中心に、各単元の演習を行う
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期考査の結果を主として，授業の取り組みや小テストの結果も加味する。
レポート	0～20	
小テストなど	0～20	
授業での取り組み	0～20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
改訂　化学	東京書籍	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

大学入試を見据え，化学事象の原理や法則を掘り下げて授業を展開します。
内容が多岐にわたり難しく感じるかもしれませんが、ただの暗記に終わることがないよう、一つづつ丁寧に取り組んでいって下さい。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
理科	生物	本科	6	木津・山田

到達目標

生物学は、生命現象が「どのようにして」、「何のために」起こるのかを探究し、説明する学問です。
その学問の基礎を学ぶために、以下の到達目標を設けます。
・生物や生命現象に対する関心や探究心を身につける。
・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。
・生物学的な見方、考え方を養う。
・身に付けた知識を活用し、自らの考えを表現する力を身に付ける。
・大学入試問題に対応できる力を身につける。

授業の進め方・学習方法

〇授業の進め方
・内容理解を中心に授業を進めて行きます。
・演習問題のPDFはクラスルームに共有し、問題演習を行います。
・たくさんの情報の中から、必要な情報を整理していく練習をし、正確に文章を書けるようにします。

授業スケジュール

1学期	第2編　生殖と発生 第4章　生殖と発生 第1節　有性生殖における遺伝的多様性 第2節　動物の配偶子形成 第5節　植物の発生 第3節　動物の発生 第4節　動物の発生における形態形成のしくみ
1学期中間試験	
1学期	第3編　生物の環境応答 第5章　生物の環境応答 第1節　植物の環境応答 第2節　動物の環境応答 第3節　動物の行動
1学期期末試験	
2学期	第5編　生物の進化と系統 第7章　生物の進化 第1節　進化のしくみ 第2節　生物の起源と生物の変遷 第8章　生物の系統 第1節　生物の分類の変遷と系統 第2節　生物の系統関係
2学期中間試験	
2学期	問題演習
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験の結果を中心に、レポート、授業への取り組みなどを総合的に評価します。
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
高等学校　改訂　生物基礎	第一学習社	
高等学校　改訂　生物	第一学習社	
リードα生物基礎・生物	数研出版	
ニューグローバル　生物基礎・生物	東京書籍	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

入試問題の対策がメインになってはきますが、生物を楽しく学ぶことが目標です。常に疑問を持ちながら、生物のおもしろさを感じていきましょう。一緒に高校生活最後の1年を楽しみましょう！

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	コミュ英語Ⅲ	本科	3	田邊・上田

到達目標
大学入試に対応できる読解力及びリスニング力を身に付ける。

授業の進め方・学習方法
授業のメインは英語長文問題の演習とその解説だが、文章をより正確に読めるようになるための英文和訳(英文解釈)やリスニング演習・音読テストも重視していく。

授業スケジュール	
1学期	"Cutting Edge Chapter 1～4 Element Lesson 1～3 *適宜大学入試対策演習を実施"
1学期中間試験	
1学期	"Cutting Edge Chapter 5～7 Element Lesson 4～6 *適宜大学入試対策演習を実施"
1学期期末試験	
2学期	"Cutting Edge Chapter 8～12 Element Lesson 7・8 *適宜大学入試対策演習を実施"
2学期中間試験	
2学期	"Cutting Edge Chapter 13～16 Element Lesson 9・10 *適宜大学入試対策演習を実施"
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法		
種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験 授業内小テスト 提出物（週末課題・休暇中課題） から総合的に評価する。
レポート		
小テストなど	20	
授業での取り組み		

教科書・教材		
書名	出版社	備考
ElementⅢ	啓林館	
Cutting Edge orange	Emile出版	

参考書			
書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス
出来ることをコツコツと毎日頑張りましょう

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	英語IE	本科	2	田邊・上田

到達目標

《大学入試問題演習を通じて入試で活用できる英文法力、英作文力をつける》
・選択・整序・正誤などの文法問題演習においては、これまで学習した文法・語法・構文の知識を自在に操れるようにすることを目指す。
・英作文においては、文法・語法・構文の知識を駆使するだけでなく、自然な英語表現を使った作文を目指す。

授業の進め方・学習方法

1. The Reflex 643
①入試ランダム問題解答
②解説
英作文の添削は適宜行います。

授業スケジュール

1学期	The Reflex 643 Unit 1 ～ Unit 5
1学期中間試験	
1学期	The Reflex 643 Unit 6 ～ Unit 10
1学期期末試験	
2学期	The Reflex 643 Unit 11 ～ Unit 15
2学期中間試験	
2学期	The Reflex 643 Unit 16 ～ Unit 20
2学期期末試験	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	80	定期試験 小テスト 授業態度など　を総合的に評価する
レポート	0~20	
小テストなど	0~20	
授業での取り組み	0~20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
The Reflex 643	桐原書店	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

文法・語法問題演習をそれだけのための学習ととらえず、正しく英文を読み、適切な英作文を書くための土台作りとして丁寧に学んでください。

教科	科目	コース	授業時間	担当者
英語	ライティング	本科	3	田邊・上田

到達目標

《大学入試問題演習を通じて入試で活用できる英文法力、英作文力、及び英文解釈力をつける》
・選択・整序・正誤などの文法問題演習においては、これまで学習した文法・語法・構文の知識を自在に操れるようにすることを目指す。
・英作文においては、文法・語法・構文の知識を駆使するだけでなく、自然な英語表現を使った作文を目指す。
・英文解釈及び和訳においては、英文の構造を適切に取れるようにするだけでなく、自然な日本語に変換できるようにすることを目指す。

授業の進め方・学習方法

Write to the point を使用。大学入試問題を中心に基本的な英作文力をつけます。
適宜、補足プリントにて演習。

授業スケジュール

1学期	Write to the Point Lesson1～4
1学期中間試験は実施しない	
1学期	Write to the Point Lesson5～8
1学期期末試験は実施しない	
2学期	Write to the Point Lesson9～12
2学期中間試験は実施しない	
2学期	Write to the Point Lesson13～18
2学期期末試験は実施しない	
3学期	
学年末試験は実施しない	

成績評価方法

種別	割合(%)	評価基準など
定期試験	0	授業内での小テストや確認試験（定期試験の代わりの授業内テスト。通例試験1週間前の授業で行う）、出席状況などを総合的に評価する。
レポート	20	
小テストなど	60	
授業での取り組み	20	

教科書・教材

書名	出版社	備考
Write to the Point	数研出版	

参考書

書名	著者	出版社	備考

担当者からのアドバイス

志望校の出題傾向をよく把握し、演習をしっかり積んでいきましょう。